マークラインズ（タイランド）社
坂井 建一 社長

マークラインズは自動車産業の各種情報を提供する法人向け会員制サイト「自動車産業ポータル」の運営会社。今回はタイ法人の坂井社長を訪ね、事業内容などについてお話を聞いた。

日本本社について

本社は二〇〇一年に設立したマークラインズ株式会社で、世界各国の自動車産業情報を収集し、インターネットを通じてこれを提供するとともに、会員企業が自社製品をプロモーションできるサイトを運営しています。創業者の酒井誠は大手自動車メーカー調達部門の出身です。当時、自動車業界の情報は数多ありましたが、書籍が多く、さらに情報ごとに分散していたために、業務として必要な情報を得るために自身や同僚が大変苦労していたことがきっかけで、それらの情報をウェブ技術でまとめて体系的に提供することを思いつきました。

自動車業界では、プラットフォーム（＝車台）を複数の車種で共有することで車両開発期間の短縮化やコスト低減、品質を安定させるのが主流の概念です。同様に、車両の生産販売台数、部品メーカー動向、サプライチェーン、モデルチェンジなどは自動車産業に関わる多くの会社が共通に必要とし、当社のデータベースをプラットフォームとしてご利用いただくことで、早く、低コストで、安定的に情報を収集することができます。「自動車情報プラットフォーム」というサービス名はそこから名付けておりまして、現在、世界で１７００社以上の法人の皆様にご利用いただき、情報が共有されています。

日本語版のサービスを開始したのが二〇〇一年八月、同年一二月には英語版もスタートしました。中国語版も二〇一一年一二月に開始し、現在は3言語で情報提供しております。また二〇〇三年に米国（ミシガン州サウスフィールド）に現地法人を設立したのを皮切りに、二〇〇四年に中国・上海、二〇一三年七月にタイ・バンコク、二〇一五年一月にドイツ・フランクフルトに海外拠点を設立しました。

タイ法人について

米国、中国に続き、自動車産業が集積するタイへの進出を決めました。二〇一三年七月に１００％出資子会社として「MarkLines (Thailand) Co., Ltd.」を設立、オフィスはＢＴＳアソーク駅に近いＦＩＣＯプレース・ビルにあります。

タイ法人は、新規顧客開拓の営業活動と現地の自動車産業情報を収集する調査活動が主な業務です。調査活動では、タイ人スタッフが、現地新聞やインターネット等からの情報取得だけでなく、電話取材による一次情報の入手活動を行なっております。

現在、スタッフ数はタイ人２名、日本人が私を含め2名という陣容です。

ポータルに掲載されている情報について

「自動車情報プラットフォーム」の大きな特徴は、各国の生産台数、販売台数、モデル、部品、部品メーカーなどの情報が一つのサイト上で検索できることです。また、エクセルにダウンロードする機能があるため、分析したり、社内レポート作成に利用したりすることが容易です。

細かいメニュー別に言えば、部品メーカーに関しては、世界４万社以上の企業情報を掲載しており、会社名、部品名、加工名、所在地、納入先等をキーに検索ができます。タイでは２１３３社（うち日系は８７２社）の部品メーカーがカバーされています。

例えば、「タイにあるシートメーカーで、自動車メーカーＡ社に納入している会社」といった条件で検索すると、該当企業が一覧表示され、各々の社名、所在地、ＵＲＬ、取扱い製品や納入先等の情報を見ることができます。

また、世界の大手部品メーカー約５００社（うち日本が約１６０・欧州が約１００・中国が約６０社ほか）については詳細な企業概要のレポートを掲載しています。「部品別発注・納入状況」というコンテンツでは、部品別、地域別に部品メーカーのシェアを推定することができます。例えば、タイやインドネシアに関しては現在約２００部品以上の情報をカバーしております。

台数統計では世界各国のメーカー別、モデル別の月次データを見ることができます。特にタイでは生産台数のうち仕向地別の輸出台数も提供しております。

モデルチェンジの情報も充実しています。これまで日本市場、欧州市場、北米市場、中国市場の情報をご提供しておりましたが、タイ市場についてもトヨタ、日産、ホンダ、三菱、いすゞの日系自動車メーカー5社から掲載を開始しました。このように、タイの情報は日々増加しております。

他にも自動車メーカーの拠点情報では、世界地図から生産拠点の生産能力や生産計画がご覧になれます。また各拠点のニュースもまとめてエクセルで提供しておりますので、ニュース記事を後でゆっくりとお読みになることができます。新興国の規制・投資奨励措置・税制などの投資ガイド、世界のＨＶ／ＰＨＶ／ＥＶ／ＦＣＶ計画、国連・米国の法規などの情報もあります。人事異動情報も各社から発表された情報を毎日更新しており、データベースになっているので、人名検索で容易に人事情報を抽出できます。市場や最新技術に関するレポート類は年間約１００本掲載しており、そのうち３０本は予測情報です。現在、国別、メーカー別に二〇一八年までの予測を掲載しています。

会員料金はどのくらいですか

すべての情報収集・発信でご利用できる基本パッケージであれば、タイでのご利用料金は2人までのご利用で年間１５万５４００バーツ、４人までが１９万４１００バーツ、１０人までが２７万３０００バーツ、１１人以上が３８万８２００バーツになっています。日本でも2人まで閲覧できる会員の場合、年間４８万円で、タイでの料金と変わらない水準です。

様々な情報源から情報を収集しようとすると年間２００万から３００万円はかかりますが、マークラインズであれば一括して４８万円～１２０万円で済みます。

二〇一四年一二月時点での有料会員数は１７１２社、無料会員を含む閲覧会員数は１４万人以上になっています。会員になりますと、例えばノートＰＣにご登録いただければ、通勤途中や出張先のホテルなどでも気軽に閲覧することができます。

情報の価値とコスト、対価についてご理解いただけるよう営業活動しています。営業活動ではデータの質、量から見た費用対効果のアピールが中心になりますね。

タイでの営業を始めて手応えはどうですか

現地法人を作る前は東京の本社から電話で営業していましたが、拠点ができたことによって現地で細かく説明し、何かあればすぐに対応できるようになりました。これまで順調に顧客数が増えています。昨年、アジアでの新規顧客数は前年比で５０％以上伸びています。タイで年間３０～４０社ずつ増やしていければと考えています。今のところタイ法人はタイだけですが、将来的にはインドネシアなどＡＳＥＡＮ各国もカバーするよう陣容を拡大していくつもりです。また調査拠点としても強化を図り、現地の一次情報をもっと収集していきます。

繰り返しになりますが、紙媒体と違ってピンポイントでデータベースにアクセスでき、しかもエクセルでダウンロードできます。登録したパソコンがあれば日本でもタイでもどこでも閲覧できます。自動車産業に特化したデータベースとしては、世界でナンバー１のコンテンツだと自負しております。無料のお試しサービスも用意しておりますので、ぜひ内容の充実度、使い勝手の良さをお試しになっていただければと思います。

「自動車情報プラットフォーム」の運営がメイン事業ですが、コンサルティング、人材紹介サービスも手がけています。コンサルティング事業は顧客のご依頼に個別に対応して市場調査（部品別モデル搭載情報、シェア情報、技術・市場動向情報など）、技術コンサルティング、提携先企業との共同プロジェクトなどを行なっています。人材紹介事業の方は技術・営業・マーケティング・海外事業などの分野で独自に発掘、入手した人材情報を提供しています。

リーマンショック後の２年間を除けば、二〇〇一年の創業から売上、利益を右肩上がりで伸ばしてきました。二〇一四年度（一二月期）の「自動車情報プラットフォーム」の登録契約企業は１７１２社で、前年から１９３社増加しました。無料登録会員も含めた登録会員数は前年比約２０％増の１４・５万人、年間ページビューは同２０・９％増の２６６７万に増えました。売上高（連結）は１０億５３００万円で前年比２３・６％増、売上高のうち自動車情報プラットフォーム事業が９億５８００万円を占めます。今年度も売上高は約２０％増を目標にしています。

地域別に見た自動車情報プラットフォーム事業の売上は、日本が約６３％、アジア・その他が１８・８５％、北米が１１％、欧州が７・３％となっています。アジアの比率は年々上昇しており、昨年度は中国が４９％増、タイが５３％増を記録しました。

昨年一二月には東京証券取引所のＪＡＳＤＡＱ市場に株式を上場しました。将来的に自動運転やビッグデータなどの新技術の登場などによる自動車関連産業の領域拡大に合わせ、自動車産業ポータルの成長を見込んでいます。

世界には完成車メーカー（現地子会社含む）が７１０社、部品メーカーが３万６９００社、材料メーカーが２９５０社、設備・金型メーカーが１万１８００社、その他のベンダーを含めれば自動車関連企業は８万社を超えると推定しており、こうした潜在顧客にとって魅力的な情報プラットフォームを提供し、顧客基盤を拡大していきます。

ご自身について

大卒後、大手機械メーカーに就職し、１０年勤務後、外資系のＩＴ関連企業に転職、ここにも１０年いました。ずっと経理畑で、二〇一〇年に入社したマークラインズでも経理を含めた管理部門を担当し、昨年三月に管理部長からタイに赴任になりました。

趣味は音楽で、ドラムの演奏、それもハードロック系の演奏です。大学時代からバンドを組んでいました。当時からオリジナル曲でライブハウスに出たりしていました。バンコクでもフジヤマというライブ活動に時々参加しています。日本では自転車、スキー、ゴルフをやっていましたが、タイではまだです。

単身赴任ですので、夜は自炊しています。料理は苦にならないほうです。タイの印象は、皆さん一緒かと思いますが、住みやすいですね。息抜きはやはり音楽スタジオなどで練習している時でしょうか。

さかい・けんいち。1963年5月27日、金沢市生まれ。金沢西高校、明治大学商学部卒。機械メーカー、外資系ＩＴ企業などを経て、2010年にマークラインズ入社。14年3月にタイ赴任。

●MarkLines (Thailand) Co., Ltd.
タイ及び近隣諸国での「自動車産業ポータル」の営業、調査、サービス拠点として2013年7月設立。
6th Fl., Fico Place,
18/8 Sukhumvit 21 Rd., Klongtoey-nua,
Wattana, Bangkok 10110

●マークラインズ株式会社
2001年設立。自動車産業に特化した法人向け会員制サイト「自動車産業ポータル」(www.marklines.com) を運営。自動車産業情報の収集機能や自社製品のプロモーション機能を併せ持つ「自動車情報プラットフォーム」、コンサルティングのほか、市場予測情報の販売、人材紹介業を手掛ける。資本金3億1430万円、従業員数87名（連結、2014年12月時点）。2014年12月に東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場。
所在地：東京都港区赤坂8-4-14
青山タワープレイス2階

安心こそ最良のサービス
Since 1994　IAT会計事務所　小林
14th FL.,Q HOUSE ASOKE BLDG.,SUKHUMVIT 21
TEL:0-2264-2124, 2125, 0-2664-0047
E-MAIL: iatacc1@truemail.co.th